

【細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス凍結胚・精子の 「保護預かり」を平成24年3月末まで「無料」】

震災でお困りの研究者の皆様へ

細胞バンク「JCRB 細胞バンク」事業
実験動物研究資源バンク事業
難病研究資源バンク事業

平素より、独立行政法人医薬基盤研究所（大阪府茨木市）の細胞バンク（以下「JCRB 細胞バンク」）事業、実験動物研究資源バンク事業、及び難病研究資源バンク（以下「難病バンク」）事業にご理解ご協力頂き、誠にありがとうございます。

この度の東北地方太平洋沖地震は想像を超えたものであり、犠牲者の方々には非常に心が痛みます。ご家族、ご親戚にこの地震に巻き込まれた方がおられるかもしれません。被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ですが、研究は、将来の日本のために続けていかねばなりません。私どもになにかできることがないか、当研究所において検討した結果、細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス胚・精子の保護預かりを「無料」にさせていただくことといたしました。

今回の震災において、設備の破損等でお困りの方、また、電力の不足で貴重な生物資源の保管にお困りの方々が多く居られるのではないかと思います。JCRB 細胞バンクおよび実験動物研究資源バンクでは、従来より保護預かりを実施してまいりました。難病バンク事業も平成21年度より開始したところですが、今回の緊急避難措置に連携することといたしました。

当バンクではこの度の震災で被害を受けられた方々を対象に研究を支援するため、以下により、細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス胚・精子の保護預かりを一定の期間「無料」にさせていただくこととしましたので、お知らせします。

【無料にする「保護預かり」サービスの概要】

- 対象：この度の東北地方太平洋沖地震で被害を受けられた公的研究機関及び民間企業の研究者
- サービス内容：自動供給の機能を持った液体窒素細胞保存容器等において、安全に細胞及びマウス凍結胚・精子の保護預かりを行う。
- 保護預かり費用：無料。但し、細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス胚・精子の送料・返却料は依頼主の負担とする。
- 無料期間：平成23年3月17日から平成24年3月31日まで
- ※輸送手段、数量等に関しては個別に相談に応じます。
- ※ヒト試料等の保護預かりにおける、倫理審査の件についても、ご相談下さい。

手続き等詳細に関しましては下記 HP アドレスを御参照下さい。

【細胞】

<http://cellbank.nibio.go.jp/information/jutaku/jutaku/safedepositflow.html>

【マウス】

http://animal.nibio.go.jp/j_safe_deposit2.html

【ヒト由来 DNA・血清等】

<http://raredis.nibio.go.jp/index.html>

【お問い合わせ先】

【細胞】

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8 （独）医薬基盤研究所 培養資源研究室
電話：072-641-9851 E-mail: cell@nibio.go.jp

【マウス】

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8 （独）医薬基盤研究所 疾患モデル小動物研究室 実験動物研究資源バンク
電話番号：072-641-9021 または 072-641-9852 FAX 番号：072-641-9857 E-mail: larb@nibio.go.jp

【ヒト由来 DNA・血清等】

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8 （独）医薬基盤研究所 難病研究資源バンク
電話番号：072-641-9019 FAX 番号：072-641-9019 E-mail: raredis-office@nibio.go.jp